

公表:令和5年3月25日

事業所名 カンガルー療育支援室 セントラルステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			棚や机など移動して広いスペースを作り下にマットをひき 利用しやすいように工夫した
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置は適切であるが、送迎等ができる看護師が必要 である
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			遊ぶスペース、食事をするスペース、午睡等休むスペース等分けている。 バリアフリーになっていない場所もあるが、基本的にバギーが通れる場所は確保できている。 子どもの遊ぶスペースも問題なし。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日清掃を行い、子どもが使ったおもちゃや絵本などは その都度拭いたりして清潔には気を付けている。 唾液等の対策に部屋にはアルコールの手拭きを置いてその都度対応している
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		目標設定は看護師優先で立ててきた。もう少し保育士等の意見を聞きながらやっていきたい
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			普段から保護者のご意見は聞いてなるべく寄り添えるように思っている。ただ、子どもの身体的な問題でできないこともある。 評価表を配布し業務改善を行ってきたい
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載を行っている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を今年度やっていなかった。 コロナ禍も改善傾向にあるので、次年度は開催を検討する
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年に3回の研修行ってきた。個人的に興味のある研修にも参加できた。次年度はもっと計画的に行っていきたい
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			計画は保護者にも確認を行い適切なアセスメントができたと考える。 保護者のニーズももっと聞いて取り入れて行きたい
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発達段階でのアセスメントツールを使い評価している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインの添って支援内容を設定している
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			毎日、こどもの状態や変化等を送り、何か問題がある場合は報告がされている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行っている
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月ごとの計画を立てて行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			午前中の1時間くらいは集団で活動を行いその他の時間は個別活動を行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			子どもの担当がほぼ決まっている。 支援内容はわかるように紙に書いている。 担当が変更になる場合は確認をしている。 役割もほぼ決まっている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			問題点があれば、確認をし改善点があれば話し合い共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別に記録を取り、支援計画に反映させている
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの状態が変わった時や何か大きな出来事があった時等アセスメントをしている	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	相談支援事業所経由で入所をした方がいないので会議はしていない
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		各保健師やソーシャルワーカー等で個別で連携を取っている人もいるし、ほとんど取っていないお子さまもいる。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアや重度心身障害だからと言ってその他の他の機関との連携が必要とは思っていないで、その子どもの状況に応じて必要な場合は連携を行っている
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		保護者を通じてや、文章のやり取りなどで連携体制がとれている。主治医が良いと言えば直接連絡も取ることがある
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	移行するお子さまが少ないが、今年度は1人保育園に行くのでその保育園とは情報を共有した。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		これまで、学校に行くお子様の先生とは来ていただき情報を伝えて相互理解を図った
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		療育センターの開催する勉強会と見学会に参加した。その他、必要な情報は書面にて頂いて共有している
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		等施設が開催する体操教室や季節の行事等出交流した。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	現時点では参加したことはありません。機会があれば参加したいと思う。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々伝えている。情報は基本的には連絡帳で伝えているが直接伝える場合もある。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングという名目ではやっていないが個別に必要な指導や助言は行っている
	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		行っている。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		同意を得ている
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別に対応している
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍で対応していなかった。今後検討したい。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		対応している
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報は発行していないが、必要な事は文章で伝えている
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		十分に注意している
	㊲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		コミュニケーション方法は子どもによって違うの出それぞれの方法で行い、配慮している。
	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍でやっていなかった。今後検討したい

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		保護者には伝えていなかったので次年度は周知したい
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			2か月に1回行っている
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			確認している
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		植物アレルギーお子さん現時点ではない
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有して、繰り返さないようミーティングを行っている
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待のセルフチェックをして研修を行った。外部の研修も参加したい
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束が必要なお子様はいない

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。